



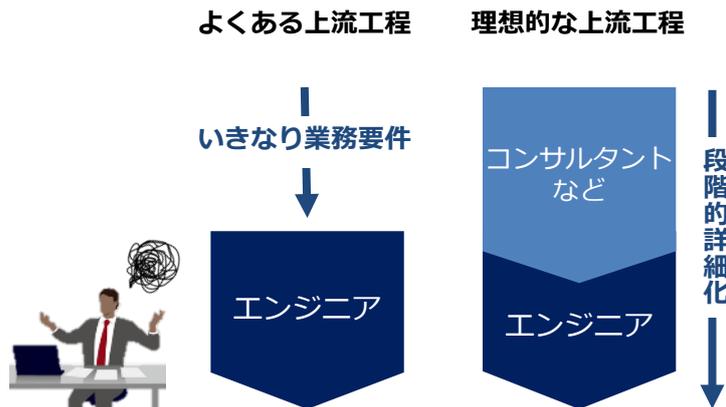
# 要求開発モデリングサービス 『おしごとモデルズ<sup>®</sup>』

## 「やらない」「できない」「わからない」上流工程の課題を解決

業務改革やシステム化における上流工程（要求定義・要件定義）といえ、これまでは外部のコンサルタントやエンジニア（情報システム部門や外部ベンダーなど）が、ヒアリング形式で行うのが一般的ですが、以下のような課題があります。

### 上流工程における課題

- エンジニアがいきなり業務要件の確認からやり始め、結果的に手戻りが大きくなってしまふ
- 外部に委託するとリードタイムもコストもかかるが、社内にはスキルを持ち合わせている人材がいない
- 個々のスキルに依存してプロセスやアウトプットがまちまち
- エンジニアと非エンジニアのコミュニケーションにおいて、お互い伝えたはずなのに伝わらない



## 生成AIを活用し、上流工程を「だれでも」「簡単に」

おしごとモデルズ<sup>®</sup>を活用することで、これまでは主に専門家や有識者に依存していたことが、「自ら」行うことができます。

ユーザー企業の事業部門や企画部門  
ユーザー企業の情シス部門や情報子会社  
SIer  
コンサルタント



専門知識がなくても  
① 業務みえる化

カード形式のユーザーフレンドリーな業務可視化手法である「おしごとスケッチ<sup>®</sup>」で、誰でも簡単に業務概要をまとめることができます。

労力や時間をかけなくても  
② 業務モデリング

生成AIを活用した「おしごとモデラー<sup>®</sup>」が「おしごとスケッチ<sup>®</sup>」を読み込み、モデリングを行い、その場でエンジニアが分かる図※にすることができます。

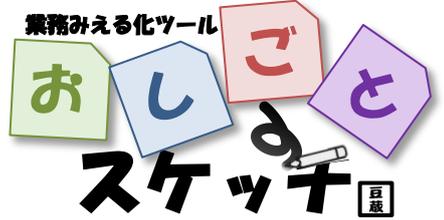
※アクティビティ図等のUML図

コンサルタントでなくても  
③ 業務改善

「おしごとモデラー<sup>®</sup>」が現在の業務に対して改善提案をしてくれます。  
また提案だけではなく、実際に改善した新しい業務をモデリングすることができます。

できないをできるへ **デジタル化推進の突破口**

# 業務みえる化ツール 『おしごとスケッチ<sup>®</sup>』

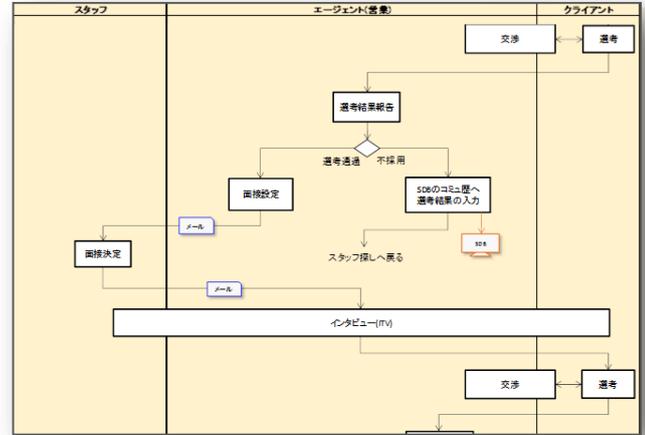


業務可視化のハードル「業務フロー」に代わる、“みえる化”ツール

## 業務可視化にあたっての課題

業務フローを作成しようとしたが…

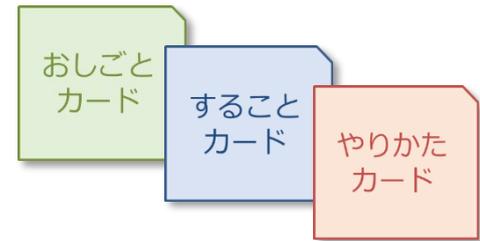
- ・実際に書こうとしたら、  
「どう書けばいいか、わからない」  
「書き出す業務の範囲がわからない」
- ・人に依頼しても、  
「細くなったり、大雑把だったりバラバラ」
- ・箇条書きテンプレートを使っても、  
「粒度がバラバラ、表現の統一性がない」  
「主語がない」「具体的内容がわからない」



## おしごとスケッチ<sup>®</sup>とは？

おしごとスケッチ<sup>®</sup>は、カード方式で、書きやすく、読みやすい、業務の整理方法です

- ・「カード」を使うことで、サイズ、書式が規定されるので、何を書くのか、どのくらい書くのかが統一されます
- ・目的を持つ3種のカードを使うことで、表現の統一と記載粒度がそろいます



「おしごとスケッチ<sup>®</sup>」を使うと、簡単に業務の“みえる化”ができます

### おしごとカイゼン

現状分析

改善検討

実行・評価

おしごとスケッチ

### カードなので

- ・対象を指してディスカッションができる
- ・並べ替えが簡単
- ・AsIsの整理だけでなくToBeの業務もデザインしやすい

おしごとスケッチ<sup>®</sup>は、現場自らによる

「おしごとカイゼン（業務改善）」に向けた現状分析と改善検討に役立ちます

- ・情報システム部門や外部コンサル・ベンダーなどがトップダウンで行う「業務ヒアリング」ではなく、現場で行う「おしごとスケッチ<sup>®</sup>」で現場からの改善を促進
- ・ワークショップ形式で、ワイガヤスタイルで身に付けられる
- ・雛形への落とし込みだけでなく、業務整理、改善への気づきのスキルが習得できる

現場ができる業務の“みえる化”で、「おしごとカイゼン」を加速

詳しくはこちら

<https://www.mamezou.com>

株式会社 豆蔵

〒163-0434 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号

新宿三井ビルディング34階

TEL:03-5339-2114 (代) FAX:03-5339-2380

